

# OWN



# Journal

x Owner 22 Book

©smt Unofficial Fan Book

Eishi / Okome Tanaka Nemui

R18



# Own Game

## - ATTENTION -

オーナー(カジノ次男)受け合同本

次男×次男の同一CPです  
※メインCPの他に、他派生の  
22or42をにおわす表現があります

全員自分の性癖に正直に  
好き放題書いてます。

※何でも許せる方向け※

### 禁 止

18歳未満の閲覧  
ネットオークション・フリマアプリへの出品  
無断転載・複製複写・転用  
WEB上へのアップロード

本文の無断違法公開を見つけた際は検索サイトへのDMCA侵害申請、  
サーバー会社への通報、及び悪質な場合は損害賠償の請求等  
相応の対応を行います。

この本は個人による非公式のファンブックです。  
制作会社様、およびすべての著作権元とは関係ありません。  
不要の際は廃棄、あるいは中古同人ショップなど  
一般の方の目の触れない所へお願いします。



*Office Worker*



*Owner*

えびし







疲れているだろうか？



遠慮せず  
ゆっくりして  
くれたまえ



…ゆっくり  
出来れば…だが



……やめ

よく来てくれた

Mr.  
シミヤ





……  
貴方は一体……?

何故こんな  
真似を……?



ほう?

意外と  
冷静なんだな



……知り合いに

よくこういう事を  
してくる人が  
いるので……



君の言う  
知り合いとは



仕事終わりに  
いきなり拉致されて  
拘束されてるんだ

普通のサラリーマンなら  
泣いて驚くところだろう?





そうそのマフィアだ

知つての通り  
奴はかなりの  
好色家だが、



青いシャツにスーツの  
マフィアの男だろうか？

☆  
Giao!!!!

！  
マフィアさん…



最近特に  
よく言う  
名前があつてな



それが君だ

マツノ



何でも、君…

すいへ  
「良い」らしい  
じゃないか













まっ……

んんん

待て待て  
待つんだウェイト……

何でオレが  
縛られてる……!?



オレは絶対に  
ボトムなんて  
やらんぞ!!

早く外せ!

外しませんよ  
だって貴方

縄抜け  
出来ないじゃない  
ですか

なに  
おれが何ぞ  
外せんぞ

そもそも  
何で君は  
出来るんだ!?

言ったでしょう?

ズルッ。

知り合いによく  
こういう事を  
してくる人がいるって  
だから覚えました

ッ





当たり前だろう!?

早く抜け!  
気持ち悪い……!



ゴッゴッ……

へえ……本当に  
せまい……



やめ……

くっ……!



オーン……

ついでにこの  
縄も解くんだ  
そうすれば  
かわりに君を  
気持ちよく  
してやる……!



?



そうだった  
今度マフィアさんに  
使おうと思って

購入した  
ものがあつたんだ

ハハハハ



あ













ガ  
ジ  
ン

……それにしても  
一体何を入れたんだ  
あいつ……

パイプ……と言うには  
少し小さいし……  
ローターと言うには  
長い……



フツ……  
こんな異物感だけの  
物をいれるなんて

マツノが  
あいつを抱いてる  
なんてやはりウソ  
なのでは？

か  
ち  
こ  
ん  
ご  
ん  
ご  
ん



!?



モ  
ゾ



ア  
リ  
マ  
シ



しかしもし  
本当に抱いで  
いるとしたら……？

あいつが  
……？









だ、だめだ...ッ  
少しでも動くと...

きてしまう...!

風呂から  
出てくるのを...

待つしか  
ないのか...?

とにかく  
心を落ち着かせて  
...ッ



深呼吸をつ...  
...ッ

して...ッ  
しずかに...  
やり...過ごせば...ッ







イツても…  
イツても…

終わらな  
い…  
い…  
い…

射精も出来な…  
ずっと…ドライで…  
イキ続けでる…

くそ…早く…  
帰って来てくれ…





すいません  
風呂で少し  
寝てました…

大丈夫……



……じつはいいですね……

気絶して……



マフィアさんとは  
また違って……



この人も



……





















こんな



こんな  
はずじゃ



.....



なかつた  
のに





良い……ッ

す……ッ……

ズッ

マフィア



痼だが  
マフィアの

……ッ

言う通り  
かもな……



……?  
抜かない……?



君、射精してないが  
まさか……

……  
すみません



まさか

……  
Mr. マツノ……?







Own  
game





今日は散々  
だったぜえ……

まさかジョックス達に  
レコードショップで  
遭遇してしまうなんて

ああでも  
ニューレコードが  
無事でよかったぜえ……



よし  
いないな

こっそりこのまま  
シャワールームに……

ゴッ

ニ



カーラ!

ク!!



あ、ダディ……

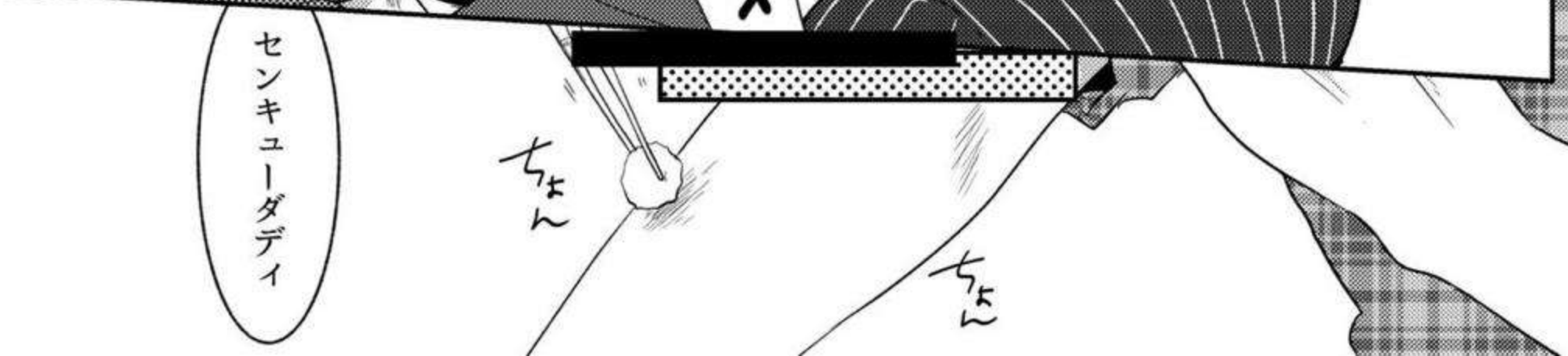
玄関が開いた音が  
したと思ったら……

ポロ

アイムホーム……

ああ……  
ポロポロだ













何かあったら  
いつでもパパが  
手を貸してやる

ダディは優しくて強くて  
太陽のような存在だった



泣き虫だった  
オレにとって

気が弱く



ただ

オレがダディに  
抱いている  
この想いは

いつしか  
父親に対するものとは  
異なっていた



頼りになるぜ

行ってくるな

おれ





あ  
おかえりダデイ……



新しく買ったレコードを  
聴いていたから久々に  
夜更かししていたんだ

……どうしたんだ？  
なんか様子が……



ん、  
ただいまカーラ♥

起きてたのか  
珍しいな



えっ

あ!!?













なんだ

これ

本当に酔っ払った  
だけなのか？

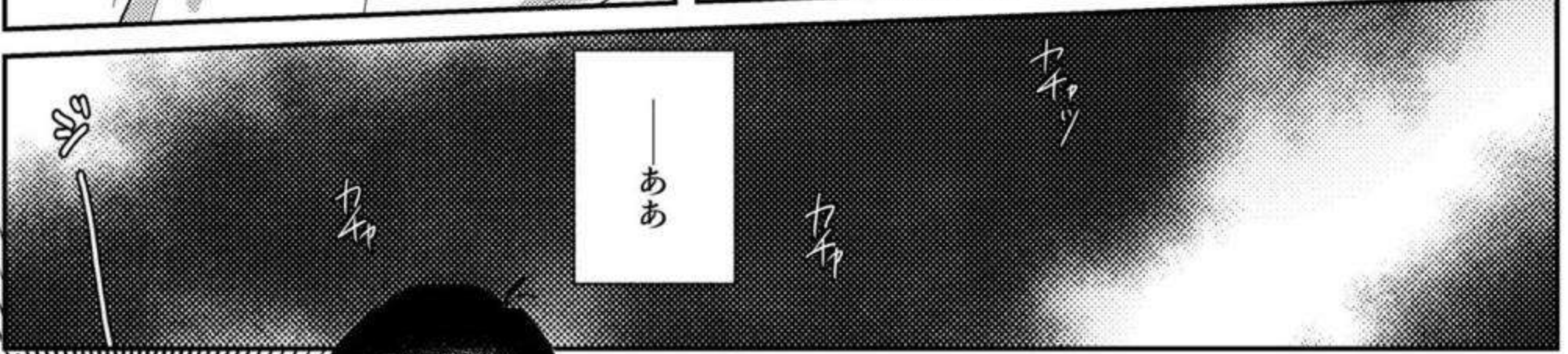


!?

ふーあっす



……な



ああ

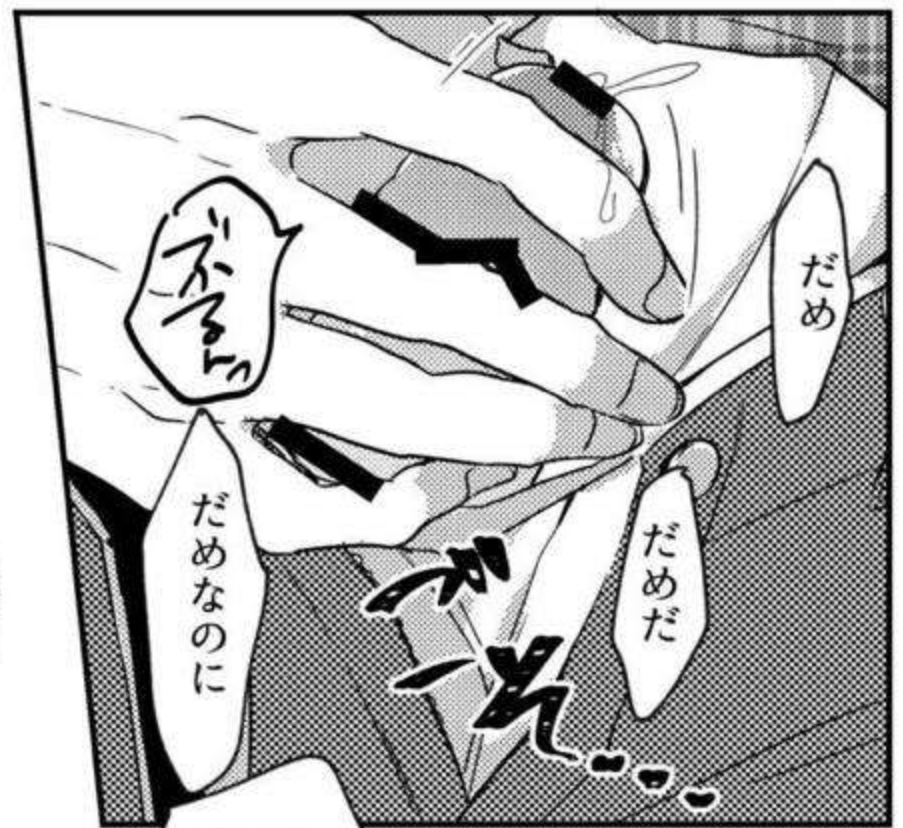
ヤケツ

カチャ

カチャ



我慢なんか出来るわけ  
な〜〜い!!!!!!



だめ

だめだ

だめなのに

だめ

。。。。  
ダディのこんな  
色っぽい声を聞いて

うーん

ふ





オレでも  
わかるぜ

明らかにお酒じゃ  
ないだろう

なんだ?  
これ



ダディで  
抜くなんて  
何考えてんだ

何を盛られて  
きたんだ……?



履  
い  
て  
な  
い  
?!

こ  
ん  
な  
握  
え  
膳  
……





マイサンが  
ダデイのに  
擦れている……

ダデイの太腿

起きないでくれ

起きるな











いつもボスや得意先の  
接待の食事会だって

たまにレディと  
熱い夜を過ごすのさ、  
って言うっていたけど

これは  
まさか

ダディが  
ボトムなのか

おんちや



だってこーい

こんなにとろとろで  
まるでさつきまで  
使ってたみたいなの……

…間違いない

おんちや

おんちや

おんちや

おんちや

おんちや

おんちや

おんちや



















オレももうダディが  
思ってる程  
キツズじゃないんだ

だから次はオレが  
ダディを護れるように  
なってみせるから!!

いつの間にこんなに逞しくなっていたんだ……

好きな人を  
他の男にいいようにされて  
黙っていられるほど弱くないぜ

もうすぐハイスクールだって  
卒業する!

子ども子どもと  
思っていたが

あやうく  
ときめいてしまうとこ  
だったじゃないか……









*Master*



*Owner*

たなか







ん？

お前、あの人相の  
悪い猫には下だろう

…そしたら俺が上の  
方がいいんじゃないか？



…んや、  
今日は俺が上さア



昂あがりってしまって  
しょうがないんだ…



抗争けんこう帰かえりでな





…ふむ

うん

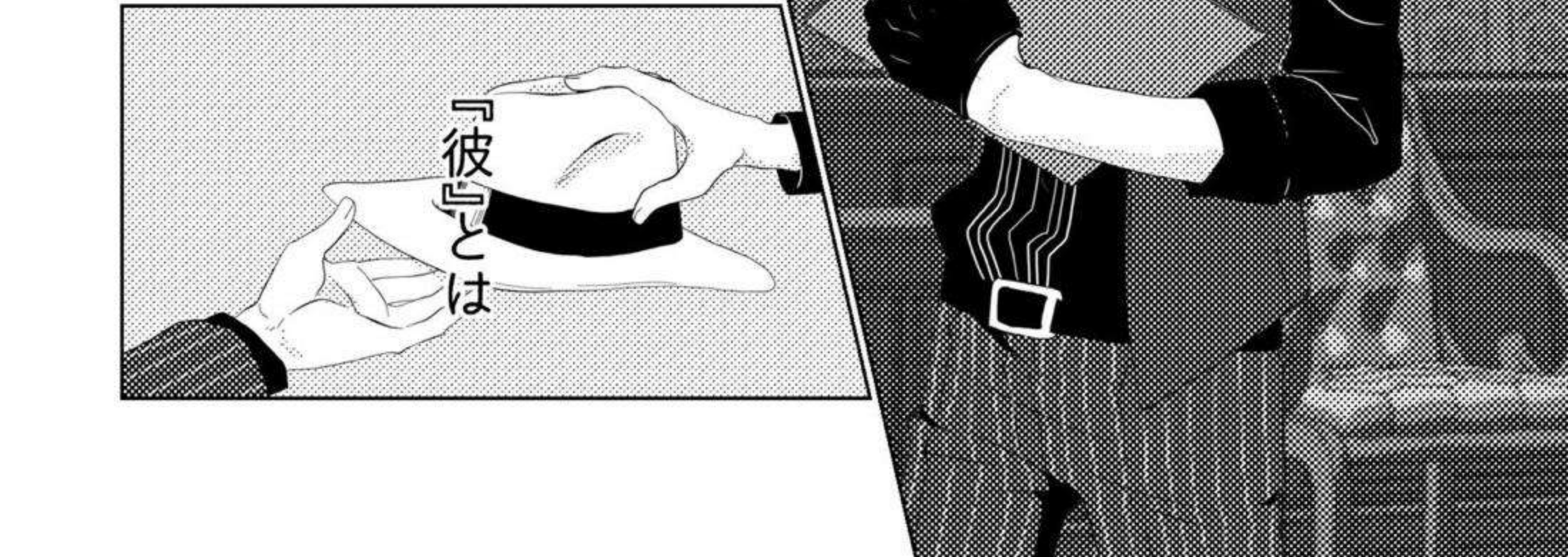


一松、今日は彼の所に行くぞ

何かあったの？

する

ああ少しな



『彼』とは





町の外れにある  
薔薇の綺麗な館に住む  
男のことだ

昔はどこかのマフィアとして  
名をあげていたそらだか

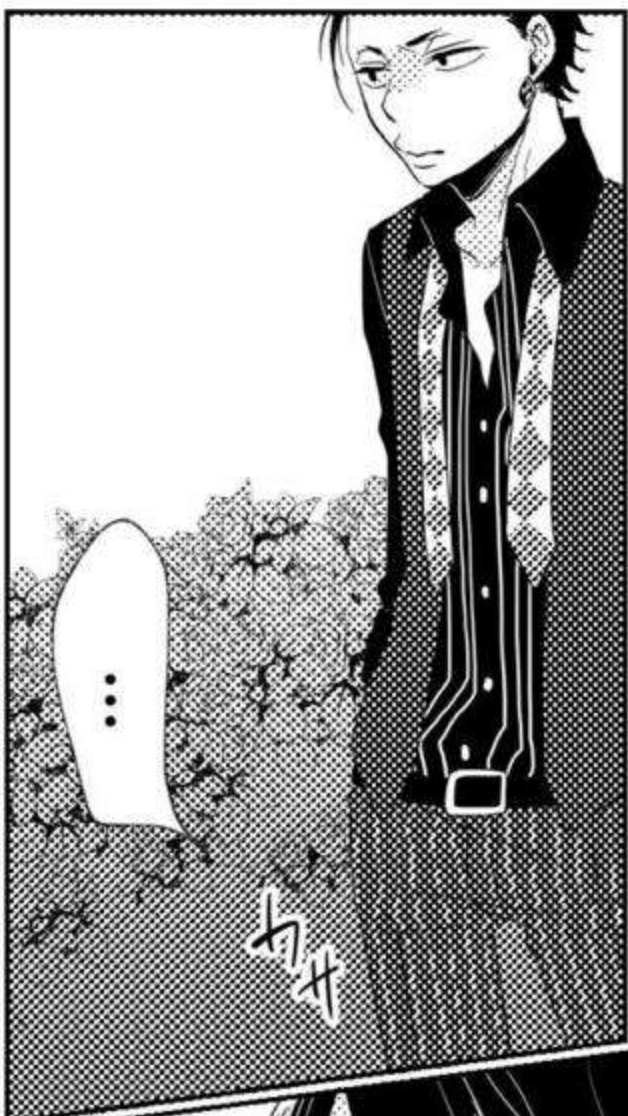
ある日足をやられてしまい



それ以来  
表では慈善活動家  
裏では裏稼業専門の情報屋  
として過ごしている









で、今日はなんの話が聞きたいんだ？

最近うちのカジノの周辺が不穏でな何か情報は入ってないか？

なるほど、その話かなら場所を変えよう







一松、大人しくここで待っているんだぞ

イチは薔薇の手入れを頼むな

はい



こうやって  
いつもここで  
待たされる



でもさっさと...

2人がどんなやり取りをして  
情報の代わりにどんな対価を  
支払っているかも  
聞いたことはない

ヒアアアア









まずはしっかり  
勃たせてもらおうか

いいだろう

ほっ



ハッ  
ハッ  
ハッ

んう

んっ…

っふ

んっん

はっ  
ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ









んん...

おん



一松が待っているんだ



ああ

ん

おん

おん

あ

おん

おん

おん



は

は



最近君のカジノの周辺を  
嗅ぎまわってるやつが  
いるのは確かだな

はあ  
はあ

ん  
ん

はあ  
やはり……っか……!

ん  
ん

で？それは誰なんだ？

？

ん？！

ん

……















くっ  
責任持って  
反対側も可愛がれよ

くっ

イラ

サッ

ほ

ほ

ほ

ほ



あっ♡

もちろん♡

ホッ

♡♡♡

♡♡

♡♡

♡♡

♡♡





待たせたな一松

おかえり  
…情報は聞けたの？

ああ！ばっちりだ！

ま  
た  
せ  
た  
な

スト

お  
か  
え  
り



じゃあまた何かあった時頼むな！



早く帰って片付けよう！

くる





ああいつでもおいで



何もない時でもね



Own  
Jame

Eishi / Okame Tanaka Nemui





何が「情報交換」、だ



…全くこんな夜中に  
呼び出しておいて



はじめから  
コレが目的だろう



そんなつれない  
ことを言うなよ

愛しの部下は今  
南米の方でドンパチ  
やっててな

ロシアでの  
独り寝は肌寒いだろう？

添い寝してくれる  
猫ちゃんが必要なのさ









痕はつけて  
くれるなよ、白

…なんら



おっと



俺の子猫もおうちで  
イイ子に待ってるんだ



早く帰してやらないとな



それは



そうか…





あッ...



ここを虚められるの好きだろうか?

ん



せっかちなな...



お、おいそこはいいだろう

早く挿れてくれ...



ほら

ナカだってこんなに締め付けてくるじゃないか

うああアッ.....!

あッ  
アッ









ふふ…  
相変わらずの  
名器だな

カッ

クッ

カッ  
クッ

ふっ…

ア、あ

クッ  
クッ



お前の…は

あッ♡

んんッ



んじ

う

は…っ



ふあ…ッ



快楽に従順な所も  
可愛いぜ、カラ松…

ソコ  
もっと  
シてくれ…っ

ソコ

ソコ

ああ♡

ソコ

ソコ





やはり髪を  
乱したお前は  
セクシーだ



ああ、それに



俺を組み敷いて  
いるみたいでな

興奮するぜ



は、  
悪趣味だな...と  
言いたいところだが

その気持ちは  
わかるぞ...っ

んっ...









そうだな...



この雪が  
溶ける頃になったら

また、な





2019.03.24  
22 Only 3 Owner Book  
Ebishi (Office Worker) Okome (Geek)  
Tanaka (Master) Nemai (White Mafia)





*Geek*



*Owner*

お米

